

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	設計計画 2	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	資料などプリント配布				
担当教員情報					
担当教員	平山 浩樹 他			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士
学習目的					
産学連携・地域連携の一環で、大田区内の敷地を対象とした建築物を設計する課題に取り組む。まず大田区の都市計画の方針やまちづくりの現状を学び、敷地周辺を調査し住民の要望が少しでも反映できるような情報を得て設計を開始する。より高度な設計作品となるように、毎回、教員・講師との対話の中から自己の設計案をレベルアップさせていくことが学習目的である。					
到達目標					
社会ニーズを読み解き、時代に即した解決案を提案する。敷地の調査を入念に行う。地域の環境にふさわしい案を検討する。構造形式を理解して計画する。地域ならではの設計提案を期限内に完成させ、地域の方々へも発表していくことが到達目標である。					
教育方法等					
授業概要	目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。				
注意点	この授業では積み重ねが大切である。また、自宅での学習、エスキスに向けた課題への取り組みがクリエイティブの根幹をなすというモノづくりの流れと原則を身体感覚に根差した理解を行う。 自宅での準備を充実させること。 特別演習 2 と関連して授業を行うため、授業は休まず出席すること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題提出	50%	課題提出 2 回、作品内容について採点を行う		
	発表	30%	課題提出に伴う発表及びそこでの議論により採点を行う		
	平常点	20%	普段行われるエスキスの状況、進捗など取り組み姿勢を評価する		
授業計画（1 回～1 3 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	イントロダクション		各スタジオスタート、エスキス 1、スタディ 1		
2 回	エスキス・スタディ 2		作業、エスキス指導、プログラムを考える、ストーリーを考える		
3 回	エスキス・スタディ 3		作業、エスキス指導		
4 回	エスキス・スタディ 4		中間発表会に向けて、作業、エスキス指導		
5 回	エスキス・スタディ 5		中間発表会に向けて、作業、エスキス指導		
6 回	中間発表会		発表会		
7 回	エスキス・スタディ 6		企業中間を受けて、最終案の確定、手直し、C A D・模型作業その他		
8 回	エスキス指導、作業		最終案を基に作業を進める		
9 回	完成前の確認（1）		レイアウトプレゼン相談、作業分担、案の確認		
1 0 回	完成前の確認（2）		模型写真撮影、プレゼン他、作業、指導、チェック		
1 1 回	完成前の確認（3）		作業、指導、チェック		
1 2 回	最終提出 確認		データ、図面、模型他		
1 3 回	展示・発表会		準備、展示会、講評会、片づけ		